

2019年度

事業計画書

社会福祉法人 銚子市社会福祉事業団

目 次

I	法人の基本方針	1
II	組 織 図	2
III	評議員会及び理事会等の開催計画	3
IV	法人本部の事業計画	4
V	各施設事業計画	
1	銚子市養護老人ホーム長崎園	5
2	特別養護老人ホーム松籟の丘及び個室ユニット型特別養護 老人ホーム松籟の丘	7
3	ショートステイ松籟の丘	9
4	ケアマネージメントハウス松籟の丘	9
5	銚子市海鹿島保育所	10

I 法人の基本方針

社会福祉法人制度改革により、「経営組織のガバナンスの強化」、「事業運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」、「地域における公益的な取組」が社会福祉法人の責務となっている。

当事業団としては、制度改革に則った評議員会及び理事会の体制整備の更なる充実、運営を図るとともにその決定に基づき、各種計画の策定・遂行、人事・財務等の管理事務の効率的かつ適切な処理に努める。

また、地域との連携を、より一層進めるとともに、必要な体制整備や情報収集に努め、次の各種事業の展開により、地域福祉の推進を図る。

1 第一種社会福祉事業

- (1) 銚子市養護老人ホーム長崎園の指定管理事業による管理運営
- (2) 特別養護老人ホーム松籟の丘及び個室ユニット型特別養護老人ホーム松籟の丘の経営

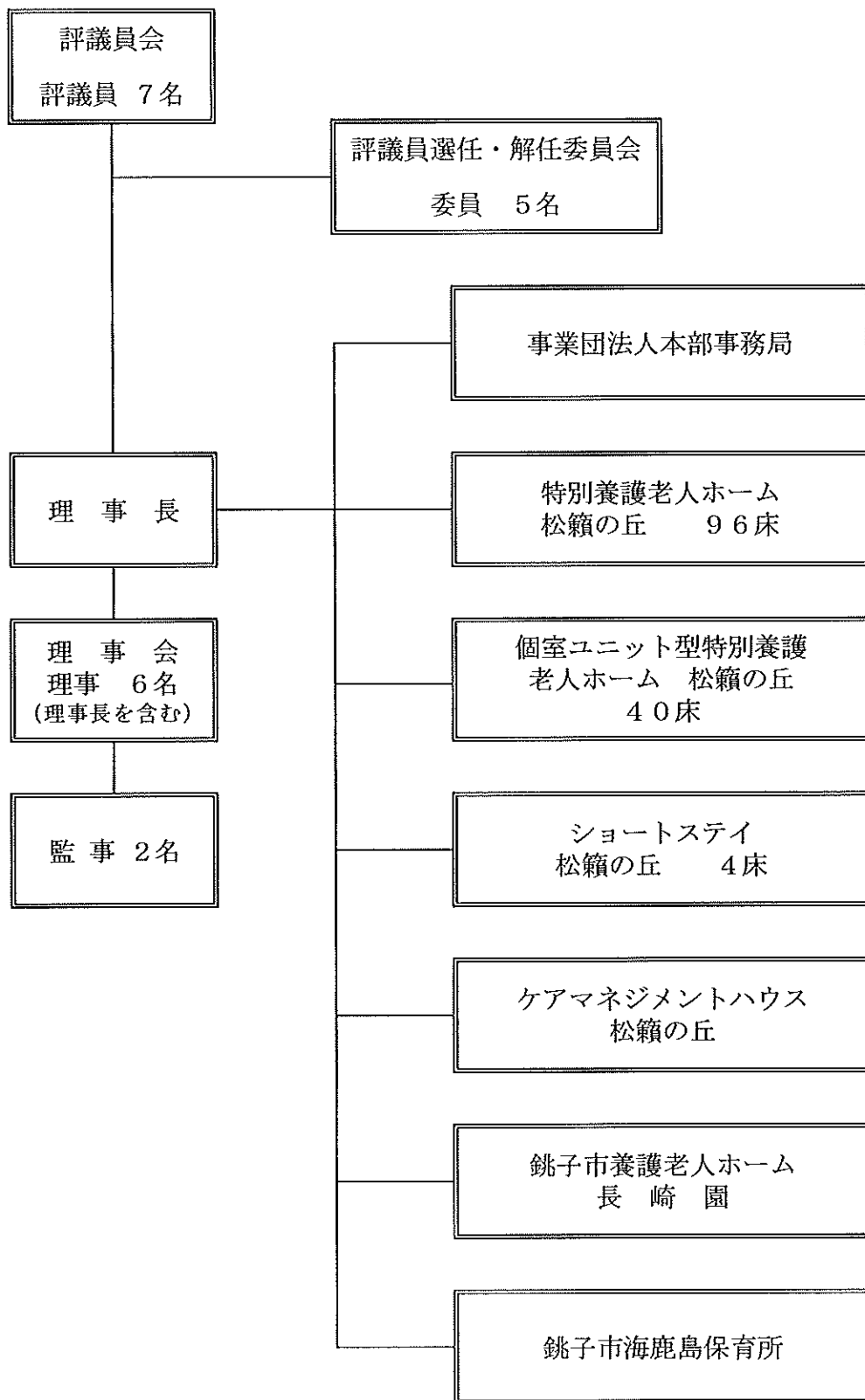
2 第二種社会福祉事業

- (1) 銚子市海鹿島保育所の指定管理事業による管理運営
- (2) 短期入所生活介護事業（ショートステイ松籟の丘等）の経営

3 公益事業

- (1) 居宅介護支援事業（ケアマネージメントハウス松籟の丘）の経営

II 社会福祉法人銚子市社会福祉事業団組織図



Ⅲ 評議員会及び理事会等の開催計画

評議員会	2019年 6月	前年度事業報告 会計決算報告 その他
	2020年 3月	次年度事業計画 会計予算関係 その他

理事会	2019年 6月	前年度事業報告 会計決算報告 評議員会議案 その他
	2019年 9月	理事長の職務の執行報告 会計予算関係 その他
	2019年12月	理事長の職務の執行報告 その他
	2020年3月	次年度事業計画 会計予算関係 評議員会議案 その他

監事監査	2019年 5月	会計決算関係
------	----------	--------

IV 法人本部の事業計画

1 改正社会福祉法に基づく健全な法人経営の推進

法人としての業務全般、予算、決算及び事業計画等に関して、定時評議員会のほか、随時理事会及び評議員会を開催・運営審議し、事業の活性化と健全な法人経営を図る。

2 中長期計画の策定

地域の福祉ニーズの変化を見据えた事業の展開、現事業の継続性と資産の維持管理を踏まえた、法人のあるべき姿を盛込んだ中長期の経営計画を策定することにより、事業運営の安定と利用者サービスの向上を図る。

3 施設間の連携協力体制の強化、相乗的・効果的な事業展開に努める

指定管理事業として管理運営する2施設のうち銚子市養護老人ホーム長崎園については、2021年3月をもって閉鎖となる旨、銚子市において決定されている。入所者の措置替えによる減少、施設の老朽化等、管理運営に多くの課題がある。

また、銚子市海鹿島保育所についても、施設の老朽化が著しく残り2年間の指定管理期間の中で、厳しい市財政の動向を注視する必要がある。それぞれの施設間との連携強化と社会福祉法人に求められる地域公益事業として何が可能であるか、検討を進める。

4 職員の処遇改善に努める

定期健康診断、腰痛検査及びストレスチェック等の実施により職員の健康管理を図るとともに、社会福祉充実計画に基づく職員の処遇向上に努める。

具体的には、昨年度に引続き、職員給料表の改定、事業運営に関わる多職種の資格、職務手当等の妥当性・整合性を考慮した職員給与規程の見直しを図る。

V 各施設の事業計画

1 銚子市養護老人ホーム長崎園

(1) 基本方針

施設サービスにおける基本的な理念である「自己決定」「残存能力の活用」「サービスの継続性」の3点から「利用者本位の自立支援のサービスの提供」を基本方針とする。

また、利用者にとっての生活の場であることから、安心して自主的に日常生活を営めるように支援していく。

(2) 重点目標

① 利用者の支援の充実

自立支援を基本に、ケアプランを作成し、個別の支援、介護等を実施し、毎月利用者の満足度の確認や見直し等を行い、現状の住みよい環境の維持と行政機関を主体に連携を図りながら、協力体制を整え、今後の住みよい環境の提供の支援をしていく。

また、長崎園の今後についての市の決定に関し、それぞれの利用者に寄り添った支援を進める。

② 事故防止、防災の体制の保持

転倒等の事故により、利用者の生活が大きく変化することを勘案し、日常的に生活環境の点検等をし、安全確保に努める。また、防災についても、利用者と共に防災避難訓練等を実施し、迅速に対応できるように努める。

③ 生活環境、施設設備の保全

施設全体の老朽化が著しく、修繕箇所も膨大となり大きなリスクを抱えているため、行政機関と調整を図りながら、安全性が保持できるように努める。

(3) 年間計画

月	施設の行事	支援関係・その他
毎月実施	座談会 (月1回) ショッピング・会食 (随時) ふれあい喫茶 (月1回)	血圧・体重測定 (月1回) 内科医回診 (週1回) 精神神経科医回診 (4週1回) 書道・陶芸クラブ (月2回) ストレッチ体操 (月1回) 理髪 (隔月) 衛生指導 (週1回)
4	花見	
5	端午の節句 藤見	菖蒲湯
6	園児との交流会	歯科検診 防災避難訓練
7	七夕	
8	夏祭り	定期健康診断 盆供養 (施餓鬼供養)
9	敬老祝賀会	防災避難訓練 (夜間想定)
10	月見	
11	寿司バイキング	こも浦荘文化祭出品・見学 インフルエンザ予防接種
12	クリスマス・忘年会	ゆず湯 (冬至)
1	新年祝賀会・初詣	緊急連絡伝達訓練
2	節分 (豆まき)	
3	ひな祭り	定期健康診断 防災避難訓練

2 特別養護老人ホーム松籟の丘

(1) 基本方針

2025年問題を目前に控え、地域包括ケアシステムの推進に向け、医療・介護の連携が強化される中、特別養護老人ホームは、今後更に質の高いサービスの提供とそれを担う介護人材の確保と育成が求められる。

当施設も開設して6年半が過ぎ、施設運営は安定しつつあるが、利用者の多様化・重度化と共に職員の対応は年々厳しい状況になってきている。「ここで暮らしてよかった そう思っていただけの支援を目指します」という基本理念に基づき、自律を目指した質の高い個別ケアの実現と地域の中での施設の役割を認識し、次の重点目標を掲げ、取り組みを進めるものとする。

(2) 重点目標

① 人材育成の充実と人材の確保と定着

施設を担う次世代の人材育成を強化するために、ケアマニュアルの見直しを行い、目指すケアの方向性と根拠を明確に示し、個々のスキルアップと統一を図る。また、施設内外の研修を積極的に活用し、職員全体で質の高いケアに向けた意識統一と自己研鑽に努め、質の高いケアを提供できる魅力ある施設として、人材確保と定着を図る。

② 地域福祉の拠点としての活動

様々な形態の実習生を積極的に受入れ、福祉人材の育成に寄与し、ボランティア団体等に向けた介護教室や勉強会の開催、また施設が地域の中で活用される資源となれるための施設の開放などにより、福祉への興味と理解を深め、地域の福祉力を向上させていけるよう取り組みを進める。

③ 経営の安定化

利用者の健康状態を把握し、早期発見・早期対応により入院を抑え、空床発生時には臨機応変に速やかな対応を行い、稼働率の安定を図る。

具体的には、松籟の丘、ユニット型ともに98%、短期入所85%の稼働率を掲げ取り組む。

④ 個別ケアの充実

個々のその人らしい暮らしを実現するために、多職種でアセスメントの重要性を再確認し、協働してPDCAサイクルの強化を図る。

(3) 年間計画

月	施設の行事	支援関係・その他
4	さくら祭り 家族会	
5	つつじ見物	防災避難訓練
6	歯科検診	寝具交換
7	夏祭り	定期健康診断（レントゲン撮影）
8	ビアガーデン 縁日	施餓鬼供養
9	敬老祝賀会	定期健康診断（採血） 夜間防災訓練
10	さんま祭り	館内特別清掃
11	いきいき祭り	インフルエンザ予防接種 寝具交換
12	寿司パーティー 焼きいも大会	
1	新年祝賀会	
2	節分	防災避難訓練
3	もちつき大会	

3 ショートステイ松籟の丘

利用者が穏やかに在宅での生活を継続できるように、利用者・家族のニーズを把握し、他職種と連携を密にし、ケアプランに沿った個別の対応に努める。また、心身の状態を観察し、変化等への早期対応と予測を含んだ見守りを行い、事故等の防止を図り、安心・安全に利用できるサービスを提供する。

4 ケアマネジメントハウス松籟の丘

地域包括ケアシステムの推進に向け、在宅要介護者の医療ニーズへの対応調整と、入退院時の医療機関との連携に積極的に取り組み、在宅での医療と介護の切れ目ないサービスの提供と暮らしの安定を目指し、質の高いケアマネジメントを実現する。また、地域包括、各サービス事業者と連携し、個々の充実した生活への支援から地域への生活支援へと広義の地域福祉を見据え、相談援助活動の強化に努める。

5 銚子市海鹿島保育所

(1) 基本方針

子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの健康・安全対策に取り組み、子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障し、子どもの可能性を引き出す「子どもの未来が広がる保育」を目標に、環境を通して養護と教育を一体的に行う。

(2) 重点目標

① 子どもの健康支援

十分に養護の行き届いた環境の下で、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にすることで「頑張れる力とできる自信」を育てる。また、個々の子どもの発育状態を把握し、健康状態を見守ることで、保育所全体の疾病の発生状況や感染症の早期発見に役立て、予防対策に努める。

② 事故防止及び安全対策

災害や事故の発生に備え、危険個所の点検や定期的な避難訓練の実施に加えて睡眠中、プール活動、食事中等の場面を想定した事故を防止するため、全職員の共通認識や役割分担を整備する。また、子どもの年齢の特性を理解した上で事故に繋がる問題を把握し安全対策に努める。

③ 食育の推進

食事は心身の成長・発達など生きる力の基礎を育む上で大切なものである。旬の野菜を中心にバランスの良い安心・安全な給食を提供する。また、栄養士、保護者、地域の方と野菜作りや収穫体験、調理実習を通して食習慣、食の楽しさや大切さを身につけさせる。

④ 保育士の資質・専門性の向上

保育実践を通じて保育の課題を把握し、対応が適切に行われるよう研修を通して、職員の共通認識を高める。また、外部研修で得た知識、技能を職員間で共有することで保育所全体の資質の向上に努める。

⑤ 子育て支援及び地域交流

子育て支援の拠点として所庭開放や保育体験、親子交流の場を設け、相談や情報交換を行うなど、地域に開かれた子育て支援の充実を図る。また、地域の方との触れ合いを通して「思いやりの心」を養う良い機会になるため、保育所が地域に様々な輪を広げることにより、地域社会の活性化を図る。

(3) 年間計画

月	施設の行事	支援関係・その他
毎月 実施	英語であそぼう（月2回） 読み聞かせ（月1回） 誕生会（月1回）	所庭開放・体操（週1回） 身長・体重計測（月1回） 避難訓練（月1～2回） 交通安全指導（月1回）
4	新入所児童入所式	食育体験学習（カスミ） キャベツ収穫体験
5	春の遠足・鯉解体ショー さつま芋・野菜苗植	保育総会及び育児講座 児童健康診断 胸囲・頭囲計測
6	音楽指導・じゃがいもほり 老人との交流会	保育参観・一日保育士体験 おなか元気教室（ヤクルト） なかよしサークル（保育体験）
7	七夕の集い・プール開き 夕涼み会 野菜の収穫・クッキング	歯科健診 なかよしサークル （プール開放）
8	お楽しみパーティ 地域・親子クッキング	なかよしサークル（プール） 保育参観
9	伝承遊び・音楽指導 さつま芋ほり	避難訓練保護者引き渡し
10	運動会・ハロウィンパーティ バス遠足・お芋でクッキング	老人ホーム運動会応援参加
11	生活発表会 おにぎりデイ	児童健康診断 小学校学校見学
12	焼き芋大会 クリスマス会・バイキング	入所申請受付
1	伝承遊び・味噌汁パーティ 音楽指導・バイキング	地震、火災の映写会 マラソン
2	節分豆まき 味噌作り・おにぎりデイ	マラソン
3	ひな祭り・お別れ会 お別れ遠足・終了式	マラソン 入所説明会